

平成 25 年 11 月

サウジアラビアの製油所で日常保全業務、固形物取扱業務を受注

山九株式会社（本社：中央区勝どき、代表取締役社長：中村公一）のサウジアラビアにおける現地法人、山九マナール サウジアラビア有限責任会社（本社：ジェッダ、社長：伊藤充彦）は、YANBU ARAMCO SINOPEC REFINING COMPANY 社（以下：YASREF 社）から、ヤンブー製油所の日常保全業務及び、固形物取扱業務を受注、11月19日同製油所にて調印式を行いました。

ヤンブー製油所はサウジアラビアの西海岸で2014年下期に操業を予定している大規模製油所（40万BPD）で、欧米企業数社との競合の結果、弊社1社が日常保全業務、固形物取扱業務共に受注いたしました。業務開始時期は2014年3月頃を予定しております。

日常保全業務は契約期間5年間（2年間の延長オプション付）で、要員は90名。要員は順次増員し、最終的には250名程度を計画しております。

固形物取扱業務は、固形製品である、石油コークス並びに硫黄のハンドリング（構内物流業務）とベルトコンベアなど関連設備の整備となります。契約期間は8年間で4年の延長オプション付きで114名の要員を計画中。2契約の売り上げは合算で210億円規模となると想定しております。

今回の受注により弊社が日常保全業務を行うサウジアラビアの製油所は3カ所となりました。今後もグローバルメンテナンスの山九として、世界中のお客様に貢献して参ります。

